

【4級・解説】

リスニング

PARTE I (N 1 – N 4)

N 1 c 【正答率】66.0%

F: Facciamo così: tu lo tieni fermo, così non scappa, e io lo lavo.

M: D'accordo. Va bene così?

F: Sì, ecco, così. Ora io lo insapono bene... e dopo lo sciacquiamo.

Stai attento perché ti bagna tutto.

M: È proprio bravo! Dai, Orso, che abbiamo quasi finito...

【訳】(女)こうしましょう。あなたが彼をしっかり押さえるの、それなら逃げないから、そして私が彼を洗う。(男)分かった。これでいい？(女)ええ、ええそうよ、そんな感じ。今度は私が彼によく石鹼をつけて……それから私たちは彼を水洗いする。気をつけてね、あなたをずぶ濡れにするから。(男)彼は本当にお利口だね！ほら、オルソ、ほとんど終わったからね……。

N 2 b 【正答率】81.4%

M: Dai, io li lavo e tu li asciughi. In due facciamo in un attimo. Per asciugarli usa questo.

F: D'accordo. E quelli asciutti dove li metto?

M: Per ora appoggiali sul tavolo, dopo li metto a posto io.

F: Va bene.

M: Non sono neanche tanti, vedrai che finiamo subito.

【訳】(女)さあ、僕がこれらを洗うから、君はこれらの水気を取ってよ。2人ならあっという間にできる。それらを拭くにはこれを使って。(女)いいわ。それで、水気を取ったのはどこに置く？(男)とりあえずテーブルの上に載せて。あとで僕がそれらをしまうから。(女)分かったわ。(男)たくさんある訳でもないし、きっとすぐに終わるよ。

N 3 d 【正答率】73.5%

M: Ecco, io passo il sapone, con la spugna, e tu la sciacqui. Ecco, così l'acqua esce più forte.

F: Così va bene?

M: Benissimo. Anche sui vetri, mi raccomando. Ne aveva proprio bisogno, è da un bel po' che non la lavo.

F: Con questo bel tempo è proprio la giornata adatta.

【訳】(男)ほら、僕がスポンジで洗剤をつけるから、君はこれを水洗いするんだ。そう、そうすれば水がさらに勢いよく出る。(女)これでいい？(男)とてもいいよ。ガラスの上もね、頼むよ。これをまさに必要としていたんだよ、ずいぶん前からこれを洗っていないんだ。(女)このいいお天気だもの、本当にぴったりの日和だわ。

N 4 a 【正答率】78.1%

F: Facciamo in due volte: prima la roba bianca e poi i capi colorati.

Il detersivo lo mettiamo qui, la regoliamo a 30 gradi... Ecco.

M: Quanto tempo ci vuole?

F: 40 minuti. E quando ha finito, stendiamo tutto sul balcone.

M: D'accordo.

【訳】(女)2回に分けてやりましょう。最初は白物、次に色物の衣料。洗剤はここに入れましょう、30度に調節して……よしと。(男)時間はどれだけかかるの？(女)40分。で、終わったら、全部バルコニーに干しましょう。(男)了解です。

PARTE V (N 16 – N 18)

N 16 a 【正答率】49.7%

M: Che hai fatto al dito, Milena? Ti sei tagliata?

F: Sì, con il coltello, mentre affettavo il pane. Il taglio per fortuna non è profondo, è uscito solo un po' di sangue.

M: L'hai disinfettato bene?

F: Sì sì, non ti preoccupare.

M: Mm... Ti fa molto male?

F: Mi brucia un po'.

【訳】(男)指をどうしたの、ミレーナ？切ったの？(女)ええ、包丁でね、パンを切っていた時に。幸い切り傷は深くないの、少し血が出ただけ。(男)よく消毒した？(女)ええ、ええ、心配しないで。(男)う〜ん……ひどく痛む？(女)少しひりひりするの。

ミレーナは:

a) 包丁で切り傷を作った b) 指をやけどした c) ひどく気分が悪かった

N 17 b 【正答率】66.7%

M: Signorina, mi dovrebbe fare le fotocopie di questi documenti e portarle al dottor Bisio. Sono per la pratica del dottor Angelini.

F: Certo, dottore.

M: Ha poi telefonato all'avvocato Marini?

F: Ah, mi scusi, ma con i preparativi per il meeting l'ho completamente dimenticato! Lo chiamo subito.

M: Ah ecco, sì, è meglio telefonare subito all'avvocato, le fotocopie le può fare dopo. Il ristorante per domani l'ha prenotato?

F: Certo, dottore: un tavolo per 6 persone per domani sera alle 8.

【訳】(男)お嬢さん、これらの書類のコピーを取って、ビージョ先生のところ
に持って行ってくれますか。アンジェリーニ先生の手続き用です。(女)分かり
ました、先生。(男)それから、マリーニ弁護士には電話しましたか？
(女)あら、すみません、ミーティングの準備があつて、私はそのことをすつかり
忘れていました！ すぐ彼に電話します。(男)そうですね、そう、すぐに弁
護士に電話した方がいいです、コピーは後ですればよろしい。明日のため
のレストランは予約しましたか？(女)もちろんです、先生。6人席のテーブ
ル1つを、明日の晩8時に。

秘書が忘れたことは:

- a) コピーを取ること
- b) 弁護士に電話すること
- c) レストランを予約すること

N 18 c 【正答率】48.0%

F: Che bello il tuo smartphone! È nuovo?

M: Bello, vero? L'ho preso due giorni fa da Itaeuro.

F: Però, Pino, quello che avevi non era così vecchio. Di' la verità, vuoi sempre avere l'ultimo modello, eh?

M: Ma no, è che quello di prima mi è caduto per terra. Funzionava ancora, ma si era rotto lo schermo. Aggiustarlo costava troppo e così... quando ho trovato questo in offerta...

F: Perché? Quanto l'hai pagato, se posso chiedertelo?

M: 539 euro invece di 819, e così l'ho preso.

【訳】(女)いいわね、あなたのスマートフォン！ 新しいの？(男)いいだろ
う？ 僕、これを2日前にイタエウロで買ったんだ。(女)でもピーノ、あなた
が持っていたのはそんなに古くなかったわ。白状なさい、あなたって、いつ
も最新モデルを持っていたいのね？(男)違うよ、実は前のは床に落とした
んだ。まだ機能していたけど、画面が割れてしまっていたんだ。修理するの
はお金がかかりすぎたから、それで……これをセールで見た時に……。
(女)どうして？ あなた、いくら払ったの？ もし聞いてもよければ。(男)819
ユーロのところ539ユーロ。それで、これを買ったんだ。

ピーノが新しいスマートフォンを買ったのは:

- a) 以前持っていたのがとても古かったから
- b) 以前持っていたのがもう機能しなかったから
- c) 新しいのがセールになっていたから

PARTE VII (N 23 – N 26)

Primo ascolto (N 23 – N 24)

F: In Giappone ha fatto recentemente la sua comparsa il “maritozzo”, tipico dolce del Lazio e delle Marche, in particolare di Roma. Si tratta di un panino dolce e morbido, farcito per lo più con panna montata o talvolta, in qualche gelateria, di gelato alla vaniglia o alla crema. La sua storia sembra risalire a un lontano passato, quando i futuri mariti (ironicamente e affettuosamente chiamati “maritozzi”) offrivano questo dolce alle proprie fidanzate. Nelle altre regioni italiane non è ancora molto conosciuto, ed è sorprendente come sia diventato così popolare in Giappone.

【訳】(女) 日本では最近、ラツィオ州とマルケ州の、中でもローマの郷土菓子である「マリトッツォ」がお目見えしました。これは甘くて柔らかい小型のパンに、たいていは泡立てた生クリームを詰めたものですが、一部のジェラート専門店では、バニラ味かクリーム味のジェラートを詰めることもあります。その歴史は遠い昔、近々夫になる予定の(皮肉と親愛の情をこめて「マリトツィ」と呼ばれる)男性たちがこのお菓子を自分の婚約者に贈っていた頃にさかのぼるようです。イタリアのほかの州ではまだそれほど知られておらず、日本でこれほど人気が出たのは驚きです。

N 23 a 【正答率】72.5%

【訳】「マリトッツォ」の中には、生クリームかジェラートが入っている

N 24 b 【正答率】82.7%

【訳】「マリトッツォ」はイタリア中でとても人気がある

PARTE I (N 27 – N 48)

N 27 c 【正答率】66.7%

【訳】私はスキーのレッスンに通い始めました。【解説】日本語では「コースに通う」と言うので、方向を示す前置詞がいるように思われるかもしれませんが。しかし、**frequentare**は他動詞なので、通う場所を直接補語として、前置詞なしで動詞のすぐ後に置きます。よって、前置詞を含まないc)が正解です。

N 28 c 【正答率】82.0%

【訳】昨日、私は一日中、家で過ごしました。【解説】文脈から一日だけのことと考えられます。**tutto il giorno**が「その日全て」という意味で文脈に合います。よってc)が正解です。なお、「全ての～」を意味する不定形容詞**tutto**は、後ろに定冠詞と名詞を必要とするため、a)は不適切です。また、不定形容詞**ogni**は後ろに単数の名詞を伴って「どの～も、あらゆる～」を意味し、**ogni giorno**は「毎日」という意味になります。

N 29 d 【正答率】61.4%

【訳】ジューリアとフランチェスコはしばしば彼らの子どもと遊びます。【解説】ジューリアとフランチェスコが「彼らの(自分たちの)」子どもと遊ぶと考えるのが自然ですので、所有形容詞は3人称複数の**loro**「彼らの、彼女らの」が適切です。所有形容詞は、名詞を修飾する場合、基本的に、名詞の前に置かれ、冠詞や指示形容詞などを伴います。よって、d) **il loro**が正解です。

N 30 a 【正答率】52.0%

【訳】「ほら、パオリーノ、いい子だから、奥さんにあいさつして」「こんにちは、奥さん」【解説】日本語では「～に挨拶する、～によろしく」と言いますが、イタリア語の動詞**salutare**は挨拶する相手を直接補語とする他動詞です。つまり、〈**salutare a + 人**〉ではなく、〈**salutare + 人**〉になります。したがって、前置詞を含まないa)が正解です。

PARTE II (N 49 – N 55)

N 49 b 【正答率】33.0%

【訳】もう座席はなかったもので、私たちは立ったままで移動しなければならなかった。【解説】「立って、起きて」は〈in piedi〉と表現するので、b)が正解です。なお、a)の〈a piedi〉は「歩いて、徒歩で」という意味になります。また、c)の〈con i piedi〉は、手と対比して「足で」、つまり「下手に、雑に」という意味を表すことができる言い回しです。

N 50 b 【正答率】67.3%

【訳】私はイタリアでたくさんの感じの良い人たちと知り合いました。【解説】「袋」や「包み」や「箱」といった入れ物の意味では文脈に合いませんが、un saccoを入れると「たくさんの～」という意味の成句〈un sacco di + ～〉となるので、b)が正解です。

N 51 a 【正答率】93.8%

【訳】ブドウ、オレンジ、イチジク、リンゴ… 私は果物は全部好きです！
【解説】はじめに並べられているのは全て果物の名前です。よって、「果物」を意味するd) fruttaが正解です。

PARTE III (N 56 – N 62)

【訳】おそらく皆さんは彼女がプレーをするのを、彼女が五輪旗の旗手でもあった 2021 年の東京オリンピック大会でご覧になったことでしょう。女子バレーボールのトッププレーヤーの 1 人で、『フォーブス』誌が 2019 年の「30 歳以下で最も影響力のあるヨーロッパ人」のリストにも加えたパーオラ・エゴヌのことです。パーオラは 1998 年 12 月 18 日、パドヴァ県のチッタデッラで、ナイジェリア出身の移民である両親のもとに生まれます。父親はアフリカではトラック運転手として働き、母親は看護師でした。背の高さに恵まれたおかげもあって、パーオラはかなり早くからバレーボール競技を始め、その能力でたちまち注目を集めました。間もなく B1 リーグに入り、そこから A2 リーグ、A1 リーグへと、そしてついには 17 歳で、18 歳以下の国代表チームの一員になったのです。2021 年、イタリアの代表チームがバレーボール欧州選手権の決勝でセルビアに勝利を収めた時には、チャンピオンとなります。彼女の肌の色のために、パーオラは実生活では人種差別的行為をも経験しましたが、常に勇気を持って困難に立ち向かい、強く前向きな女性であることを証明してきました。競技生活においてだけでなく恋愛面でもそうなのだと彼女は示しています。一時彼女は女性アスリート、ポーランドの

バレーボール選手と恋愛関係にありましたが、自身の私生活において話すことを苦にしたことは一度もありません。「私には隠すことは何もありません」と彼女は語ります。「ただし私の私生活は私一人だけに関したことのはずです。人々が関心を持つべきなのは私がバレーボールでよいプレーをするかどうかだけのはず」。現在多くの人にとってパーオラは新しいイタリアの一つの象徴です。イタリアやヨーロッパの外にルーツを持つ多くの若者たちも自分を心底イタリア人だと自覚でき、肌の色、自分の祖父母や父母の出身国が妨げとなることなく、私たちに共通の社会的・文化的・歴史的・言語的共通遺産の共有によって結ばれた「イタリアなるもの」の新しい理念を力と情熱をこめて体現できる国の。作家で記号論学者のウンベルト・エーコが言ったように、実際、「イタリアが意味するものは純粹に文化的なものであり人種的なものではない」のですから。

N 56 a 【正答率】81.4%

【訳】パーオラは東京オリンピックで旗を持った

N 57 b 【正答率】89.5%

【訳】彼女はアフリカでイタリア人の両親から生まれた

N 58 b 【正答率】80.1%

【訳】彼女は子供の頃看護師になりたかった